

第69回(令和7年度) J A 共済山口県小・中学生 書道コンクール募集要項

I. 趣 旨

J A 共済は、組合員・利用者の皆さまが、住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献するために、地域の皆さまとの絆を大切にしながら、地域貢献活動に取り組んでいます。その一環として J A 共済の理念である「相互扶助」や思いやりの精神を、次代をになう小・中学生にも伝えていくとともに、児童・生徒の書写教育に貢献することを目的として「書道コンクール」を開催します。

II. 募 集 要 項

1. 応募資格

山口県農業協同組合（以下「J A」という）の所在区域内の小学校および中学校、特別支援学校の小学部・中学部（以下小・中学校という）に在籍する児童・生徒とします。

2. 募集方法

参加作品の募集は J A の所在区域内における小・中学校を対象に実施します。

3. 応募手順および応募先

コンクールへの参加作品の応募先は、小・中学校の所在地を区域とする J A とし、J A を経由しない作品は無効とします。

4. 応募点数

コンクールへの応募点数は、半紙・条幅とも 1 人各 1 点とします。

なお、応募にあたっては、各学校の応募作品のなかから 1 学年につき、半紙・条幅とも各 3 点ずつとしてください。

※ 応募作品は、返却しません。

5. 締 切 日

コンクール応募作品の締切日は、令和 7 年 9 月 5 日(金)とします。

最寄りの J A へご応募ください。

6. 審査員および賞

(1) 審 査 員

松田 政道(鶴信)先生（山口県書道連盟理事長）

有富 由美(桂華)先生（山口県立防府高等学校非常勤講師）(山口大学人文学部非常勤講師)

白井 栄作(孝鳥)先生（山口市立中央小学校校務事務員）

(2) 賞

① 個人賞

〈特別賞〉各学年上位1点より選出

山口県県知事賞	半紙・条幅の各一点	賞状と副賞
○山口県教育委員会教育長賞	〃	〃
○日本放送協会山口放送局局長賞	〃	〃
○テレビ山口株式会社社長賞	〃	〃
○山口放送株式会社社長賞	〃	〃
○山口朝日放送株式会社社長賞	〃	〃
○JA山口中央会会長賞	〃	〃
○JA山口県経営管理委員会会長賞	〃	〃
○JA共済連山口運営委員会会長賞	〃	〃

〈審査員奨励賞〉

金賞……学年別	半紙・条幅の各一点	賞状と副賞
銀賞……学年別	〃	〃
銅賞……学年別	〃	〃

○参加賞……参加者全員に記念品を贈呈します。

② 学校賞

賞別入賞者数および応募作品点数等を勘案して、小学校2校・中学校1校を決定し賞状と副賞を贈呈します。

また、特別支援学校においても応募作品点数等を勘案して、1校を選定することができます。

7. 全国コンクール参加作品

各学年とも半紙の部、条幅の部ごとに山口県コンクールにおいて最上位に入賞した作品一点とし、特別賞受賞作品18点を出品します。

8. 入賞者の発表

JAを通じて学校に通知いたします。

山口県コンクールの上位入賞者については、作品・氏名・学校名を掲載した作品集を作成し、表彰式ならびに展示会において来場者に配布いたします。

全国コンクールの上位入賞者については、作品をはじめ、氏名、学校名等について機関誌、「JA共済」誌、「日本農業新聞」紙上および適当と判断した新聞・雑誌等において発表することがあるとともに、資材等の作成に活用することがありますのであらかじめご了承ください。

9. 表彰式

令和7年10月26日(日)13時より山口市小郡 山口県JAビルを予定しております。

※ 入賞者については、JA経由にて各学校へご案内いたします。

10. 入賞作品展示会

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| ・シーモール下関(1Fコンコース) | 令和8年1月14日(水)～1月20日(火) |
| ・スターピアくだまつ(1Fロビー) | 令和8年1月23日(金)～1月29日(木) |

11. 著作権の扱いについて

入賞作品の著作権および、作品の二次使用等に関する一切の権限は、全国共済農業協同組合連合会に帰属するものとします。

なお、JA共済連全国本部が作品を使用する場合、補作することがあります。

12. 個人情報について

応募者氏名、学校名等については、応募者名簿を作成する等のコンクール業務に必要な範囲でのみ利用いたします。また、上位入賞者については、前記8のとおりといたしますのでご了承ください。

Ⅲ. 課 題 等

1. 課 題

区 分		条 幅 の 部	半 紙 の 部
小 学 生	第 1 学 年	や さ い	わ ら
	第 2 学 年	す ば る	め ば え
	第 3 学 年	せ み の 声	た ね ま き
	第 4 学 年	食 を 育 む	結 実
	第 5 学 年	耕 す 大 地	流 れ る 雲
	第 6 学 年	不 断 の 努 力	生 命 の 源
中 学 生	第 1 学 年	歴 史 を 紡 ぐ	相 互 理 解
	第 2 学 年	協 同 の 精 神	農 業 振 興
	第 3 学 年	信 頼 の 醸 成	晴 耕 雨 読

2. 作品応募規格

(1) 応募作品

① 用 紙

(ア) 条 幅 の 部

タテ約136cm×ヨコ約35cm（画仙紙半切）

(イ) 半 紙 の 部

タテ約33cm×ヨコ約24cm

※一般的に使用されるものと異なるサイズの紙は使用しないでください。

※紙のサイズは地域によって多少異なります。（上記サイズより長短 3 cm程度までは可とします。）

※表装・裏打ち・押印等はしないでください。

② 書 体

小学生は楷書、中学生は楷書または行書とします。

③ 字 体

小学校の学習指導要領(別表1)の学年別漢字配当表に示す字体に準ずるものとします。

(2) 学年・氏名の記入方法

作品への学年・氏名の記入は、図例1・2のとおりとします。

※3文字の課題の場合のみ、学年・氏名の配置は、図例1・2どちらでも可とします。

① 小学校第1学年および第2学年

学年・氏名とも「漢数字」「漢字」「ひらがな（カタカナも可）」いずれでもかまいません。ただし、アラビア数字は使用しないで下さい。

② 小学校第3学年以上

学年は「漢数字」・氏名は原則「漢字」とします。

③ 小中一貫教育の学校（7年生以上）

小中一貫校の学年表記については学校の考え方に準じ、「七年、八年、九年」の記載を可能とします。なお、氏名は原則「漢字」とするようお願いします。

なお、次の①～④（図例3～6）に該当する作品は、すべて無効とします。

- ① 学年、氏名のないもの（図例3）
- ② 小・中学校の別を記入したもの（図例4）
- ③ 学校名を記入したもの（図例5）
- ④ 学年、氏名の順を誤って記入したもの（図例6）

正しい書き方		誤った書き方			
図例1	図例2	図例3	図例4	図例5	図例6
一年 共済太郎 名札	共一年 共済太郎 名札	 名札	小 小学校一年 共済太郎 名札	平河小学校一年 共済太郎 名札	共一年 共済太郎 名札
		学年、氏名の ないもの	小・中学校の別を記入したもの	学校名を記入 したもの	学年、氏名の 順を誤って記 入したもの

(3) 名札のはりつけ・記入方法

次の例に示すように、タテ8cm×ヨコ12cmの別紙（コピー用紙・半紙など）に、所属J A名、学校名、学年、氏名を明記し、応募作品ごとに左下に必ずはりつけてください。

〔例〕

県名	山口県	県	受 理 印
所属J A名	J A山口県 統括本部		
学 校 名	市立・町立・（ ） 学校		
学 年	第	学 年	
フリガナ			
氏 名			

8 cm

12cm

名札の実寸大は、巻末に載せておきますのでコピーしてご使用下さい。

※名札は、コピー用紙・半紙などのようなやわらかい紙を使い、作品の左下に貼ってください。また、J A名、学校名等すべてが明記されていない場合には審査対象としないことがあります。

(4) お 願 い

以下のような作品が例年、相当数みうけられ無効となっております。作品の取り扱いについては十分注意してください。

- ① 作品に学校名のスタンプが押してある作品
- ② 条幅の部の規格外の作品
- ③ 学校名が入った作品

(5) 郵送等の注意

応募作品の提出、郵送等につきましては作品を破損しないよう特に注意してください。もし、作品が破損し、審査にたえない場合には審査の対象といたしません。

附 則

当コンクールは、令和7年6月から実施します。

〔名札実寸大〕

※コピーしてご使用下さい。

のりしろ				
県名	山口県	受理印		
所属JA名	JA山口県 山口	統括本部		
学校名	山口 白石小	市立・町立・学校		
学年	第 学 年			
フリガナ				
氏名				

のりしろ				
県名	山口県	受理印		
所属JA名	JA山口県 山口	統括本部		
学校名	山口 白石小	市立・町立・学校		
学年	第 学 年			
フリガナ				
氏名				

のりしろ				
県名	山口県	受理印		
所属JA名	JA山口県 山口	統括本部		
学校名	山口 白石小	市立・町立・学校		
学年	第 学 年			
フリガナ				
氏名				

のりしろ				
県名	山口県	受理印		
所属JA名	JA山口県 山口	統括本部		
学校名	山口 白石小	市立・町立・学校		
学年	第 学 年			
フリガナ				
氏名				